

地域教育力再生プラン(全体概要)

17年度要求額:18,435百万円

背景

社会の構造や環境の変化により、住民の地域社会への帰属意識の希薄化などにより、近隣住民間の交流等の不足、青少年の問題行動の深刻化や、青少年を巻き込んだ犯罪の多発などを背景とした、子どもたちの安全・安心できる遊び場の不足(青少年の異年齢・異世代間交流の減少、青少年の体験活動の不足)、スポーツに親しむ機会の減少、多様な文化体験活動に触れる機会の減少

課題

地域の教育力の再生を図る多様な機会を提供することが国として喫緊の課題。

地域に根ざした多様な活動の機会等を提供

子どもたちが自由に遊び多様な活動が展開できる居場所づくりの支援
〔地域子ども教室推進事業〕

地域の大人の教育力を結集して、子どもたちの放課後や週末における様々な体験活動や地域住民との交流活動等を支援。

地域子ども教室 8,000ヶ所

誰でもいつでもスポーツができる環境の整備
〔総合型地域スポーツクラブ育成推進事業〕

地域住民の誰もが、それぞれの年齢や興味・関心・技術レベル等に 応じて、定期的・継続的にスポーツに親しむことができ、地域住民の主体的な運営を基本とする「総合型地域スポーツクラブ」の育成を推進。

400ヶ所

子どもたちが様々な文化に触れる機会を提供
〔文化体験プログラム支援事業〕

子どもたちが日常の生活圏の中で、年間を通じて地域の特色ある様々な文化に触れ、体験できるプログラムを作成し、実施することにより、子どもたちの豊かな人間性と多様な個性を育む。

94 地域

子どもから高齢者まであらゆる層のボランティア活動を推進するための機会の提供
〔地域ボランティア活動推進事業〕

ボランティア活動の全国展開を推進するための事業を対象別に提供。

- ・高校生対象事業
- ・大学生対象事業
- ・企業人対象事業など

987地域

地域住民等の様々な活動を通じて住民同士の交流を進め、地域社会の再構築を促し、子どもも大人も生き生きとした豊かで住みよい社会を実現(地域教育力再生)